

(2009年度版)
環境活動レポート

(2009年4月～2010年3月)

株式会社 トーキンEMCエンジニアリング

2010年 5月 6日

承認	審査	作成
佐藤	杉	小山内

環 境 方 針

当社は、全社員の環境意識を高め、全社として以下のように環境マネジメントに取り組んでいきます。

- 1・環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 2・国、地方自治体の環境法規を遵守します。
- 3・次の項目を重点項目と定め、事業活動の環境負荷および当社製品・サービス利用者様の環境負荷の低減を推進します。
 - 電気・ガス・ガソリンのエネルギーの使用量を低減します。
 - 産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減を推進します。
 - 水の使用量を低減します。

2008年7月1日

株式会社 トーキンEMCエンジニアリング

代表取締役社長 佐藤 暁

■ 当事業所の概要

1・事業社名及び代表者名

株式会社 トーキョーエン지니어リング 川崎事業所

代表取締役社長 佐藤 暁

2・事業所所在地

〒213-0023 神奈川県川崎市高津区子母口398番地

3・環境保全関係の責任者及び担当者

環境管理責任者 事業企画部長 杉 清一

事務局員 事業企画部グループ長 小山内 謙一

連絡先 電話 044-751-5331 FAX 044-751-8909

4・事業内容

1983年11月 川崎市高津区野川3623番地に、(株)トーキョーの出資により設立

1997年11月現在の川崎市高津区子母口398番地に移転

(02年に投資会社が統合によりNECTトーキョー(株)に変更)

①電磁波ノイズ及び耐妨害波並びに電子・電気機器製品等の安全の測定及び測定器等の校正に関する受託業務並びに技術アドバイス業務

②電波暗室、電磁気シールドルームなどの耐妨害波技術を応用した建築物の設計・施工と保全業務

5・事業規模('08年度)

売上高 1,919 百万円

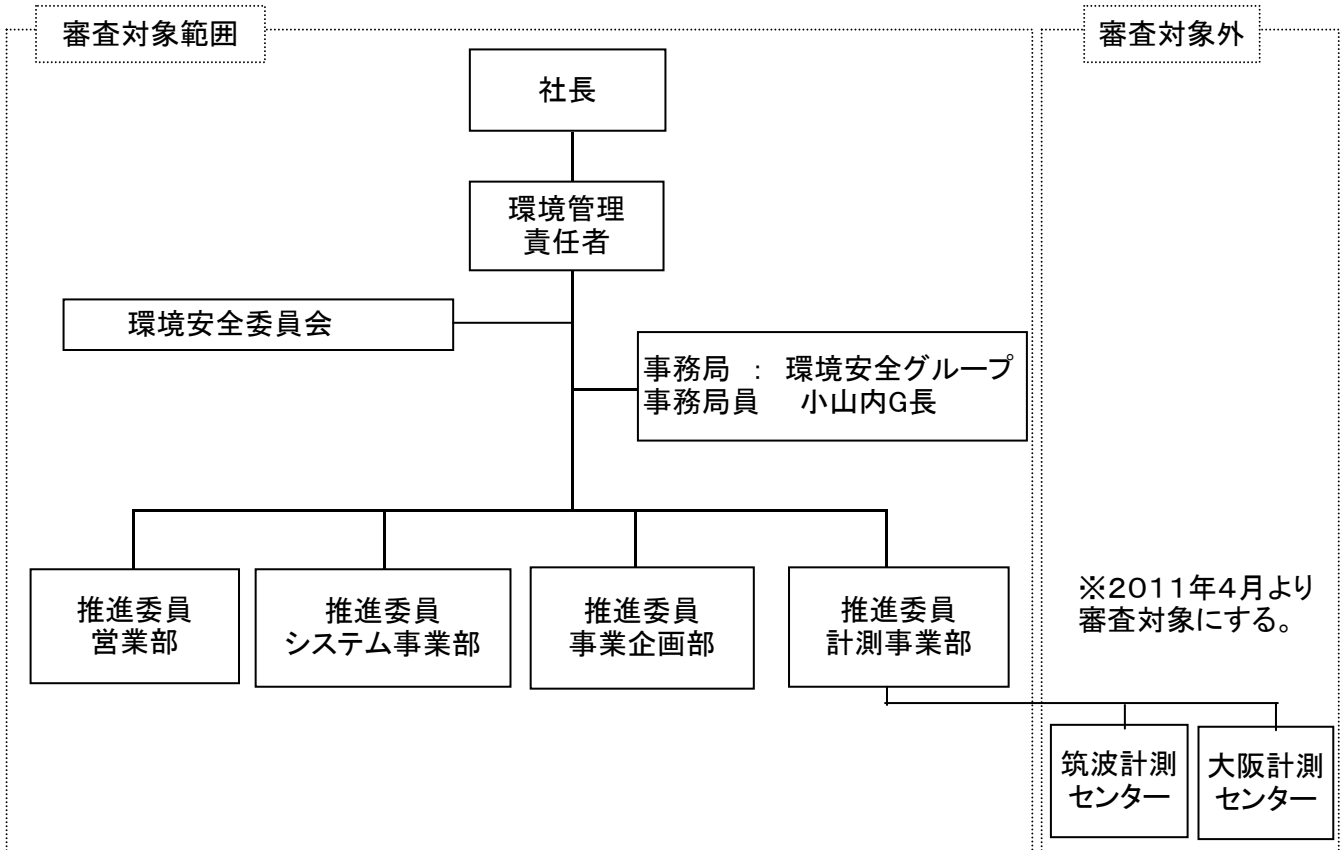
従業員数 68 名 (対象44名) 09年3月31日現在

事業所延べ面積 1918,56 平方メートル

■ 環境管理実施体制と役割分担表

環境安全グループ

承認	作成者
----	-----



責任者・会議体	役割
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・EA21の実行に必要な資源(人・物・金)を用意する ・環境管理責任者を任命する ・EA21の具体的な取り組みを評価し、見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し維持する ・環境経営システムを構築、運用状況の確認を社長に報告する ・環境活動レポートを取りまとめる ・環境安全管理委員会を開催する
環境安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎月1回開催し、環境管理活動の実施状況の確認と必要な措置を検討する ・全体的な見直しの為に必要なデータを集計する
各部の環境推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の環境教育を推進する ・自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し、推進する

■ 環境目標

当社の環境目標の設定に当たっては、環境への負荷の自己チェックシート及び環境への取組自己チェックシートの結果を踏まえ重点項目を決定した。

尚、当社における二酸化炭素の排出量(化石燃料・電気の使用量)、産業廃棄物の排出量、水道使用量の2008年度の実績は下記の通りです。

1・当社は以下の目標を掲げて環境活動を実施した。

No.	項目	目的	2009年度目標
1	電力	冷暖房電力の削減 一般電力の削減	2007年度実績に対し3%の削減
2	ガス	ガス使用量の削減	2007年度実績に対し1%の削減
3	ガソリン	エコドライブの徹底 エコカーの導入	2007年度実績に対し2%の削減
4	廃棄物	分別によるリサイクルの推進	2007年度実績に対し7%の削減
5	水道	水道使用量の削減	2007年度実績に対し1%の削減

■ 主要な環境活動計画の内容

I・今年度以降の目標

No.	項目	目的	単位	08年度実績	09年度目標	10年度目標	11年度目標
1	二酸化炭素	排出量の削減 (注1)	kg-CO ₂	169,793	173,809	172,022	164,322
		事務所電気使用量の削減	KWH	383,523	386,964	382,975	381,580
		事務所ガス使用量の削減	kg	48.4	61.5	61.5	19.0
		自動車の燃費削減	Km/L	9.87	9.05	9.14	13.05
2	産業廃棄物	廃棄物処理量の削減	トン	5.04	4.442	4.298	1.147
3	水道(排水量)	事務所水道使用量の削減	トン	452	443	443	443

注1)購入電力の二酸化炭素排出係数は0.378(kg-CO₂)を採用

削減目標は2007年度を基に

- ①電気使用量は3%削減し、3年間で4%削減を目標とする。
- ②ガス、水道使用量は1%削減し、以降現状維持を目標とする。
- ③ガソリンは1%削減し、3年間で3%削減を目標とする。
- ④産業廃棄物は分別の徹底を図り、7%削減、3年間で10%削減を目標とする。

II・今年度の活動内容

1・購入電力の削減

- 1)室内不在時・昼休み時の消灯の実施
- 2)冷暖房の温度設定 夏28℃ 冬20℃以下の室温を徹底(温度計設置済み)
- 3)冷暖房機のフィルターを定期的清掃する。
- 4)蛍光灯を40Wから36Wに順次切り替える。
- 5)パソコンの節電設定(待機時の節電設定)全数設定
- 6)電気ポット、プリンター等の夜間電源オフの実施・・・最終退出者確認
- 7)事務用機器購入時は節電タイプにする(エナジースター付き)
- 8)省エネタイプの空調機に更新する。
- 9)トイレの換気扇を更新する。

2・ガス使用量の削減

- 1)ガス給湯器使用期間の制限(4月～10月までの使用禁止を明示する)
- 2)ガス台の撤去

3・車両の燃料の削減(ガソリン)

- 1)エコカー(省エネ車)の活用・・・(プリウス)

2)エコドライブの実施(教育の継続)

【運転テクニック】

- ①アクセルペダルの踏み込みは控えめに行う
- ②グリーンゾーン内の目標設定回転数のシフトアップ
- ③十分な車間距離をとり急減速や急加速をしない
- ④赤信号の減速・停止時は早めにアクセルペダルを離し、車の転がりを利用する
- ⑤法定速度を遵守する
- ⑥時間にゆとりをもち、極力低い速度で走る
- ⑦無人状態でのアイドリングは止める

【車両の保守点検】

- ①タイヤの指定空気圧を定期的に点検する
- ②エアークリーナーのメンテナンス基準を守り清掃又は交換を行う
- ③季節に合わせ適正なエンジンオイルに変える

4・産業廃棄物の削減

- 1)廃棄物を分別し、処理量を削減する

- ①分別品目を明確にし、再資源化を推進する

- 2)廃棄物を分別し、有価物となるように推進する

- ①ダンボール ②飲料缶 ③金属くず

- 3)保管基準を明確にする

保管場所は保管基準を遵守し常に整理・整頓・清掃に心掛ける

- ①廃棄物は整理整頓し、隙間なく納める
- ②長尺物は適当な寸法にカットする
- ③コンテナは雨に濡れない様にシートで養生する
- ④ダンボールは箱を壊し、平積みとする。油等の汚れのある物はいれない
- ⑤木くずの釘は抜くか折り曲げる

5・水道使用量の削減

- 1)蛇口の短時間開放

- ①節水の表示を各手洗い場・水道蛇口等に掲示し、無駄を防止する

- 2)節水コマの取付

■ 2009年度 環境活動計画に対する取組状況及び評価

1・環境活動結果と達成状況

No.	項目	目的	単位	07年度実績	08年度実績	09年度目標	09年度実績	評価(注2)
1	二酸化炭素	排出量の削減 (注1)	kg-CO ₂	178,893	169,793	173,809	165,335	○
		事務所電気使用量の削減	KWH	398,932	383,523	386,964	389,367	×
		事務所ガス使用量の削減	kg	62.1	48.4	61.5	19.0	○
		自動車の燃費削減	Km/L	8.87	9.87	9.05	13.05	○
2	産業廃棄物	廃棄物処理量の削減	トン	4.776	5.040	4.442	1.170	○
3	水道(排水量)	事務所水道使用量の削減	トン	447	452	443	497	×

(注1)購入電力の二酸化炭素排出係数は0.378(kg-CO₂)を採用

(注2)前年同期比 比較

1)電気使用量の削減

・エアコンの使用目標を夏季28℃、冬季20℃以下に設定し運用、また照明や未使用機器の消電等の設定を図ったが、計測事業の売上増加に見合い測定設備の稼働率アップしたことに伴い電気使用量が増加した。

2)ガス使用量の削減

・ガスの使用量は対前年同期比39.3%の削減ができた。ガス台を全て(3台)撤去した事が大きな効果として表れている。

3)ガソリン使用量の削減

・自動車燃費全体としては改善が図られているが昨年6月に導入したエコカーによる効果であり、他車の燃費効率はほぼ横ばい状態である。再度、エコドライブの徹底を図る必要がある。

4)産業廃棄物の削減

・08年5月以降の分別等が定着している事が大きな効果として表れている、今後も排出量を削減し、年間目標を達成するように徹底して行く。

5)水道使用量の削減

・水道資源に対する意識は定着して来ている。節水コマの取付効果もあり、使用量の削減が図られてきたが、人員増の影響(4名)で+10%の増減となった、蛇口の短時間開放等を意識付けて更に徹底していく。

■ 代表者による評価と見直し

当社において、エコアクション21認証・登録を目標として2008年4月から活動を開始し、2009年1月に認証・登録する事が出来ました、その後も活動を継続し改善が定着した事で、対前年比(2008年)に対し、二酸化炭素の排出量、ガス、ガソリン、廃棄物処理量の低減に大きな効果を得る事が出来ました。この成果は活動してきた社員にとっても大きな励みになり、活動を通して一体感も生まれました。今後は全ての項目の目標を達成するように社員一人一人が常に向上心を持ち目標を意識しながら活動する事を期待します。

■ 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に関わる環境関連法規等の遵守確認の結果、違反はありませんでした。
また、過去3年間にわたり関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。